

単調な日々の中の

不思議なお話。

あいかぎ

# 合鍵のケモノ

HMA

はあっ…

…はっ

はあっ

はあっ

あっ

あれ…

はっ

力が抜ける…

あっ

なんだか  
気持ちがいい

あっ…





# あいかぎ 合鍵のケモノ

それは  
いつか見た

映画の  
ワンシーン  
の様に

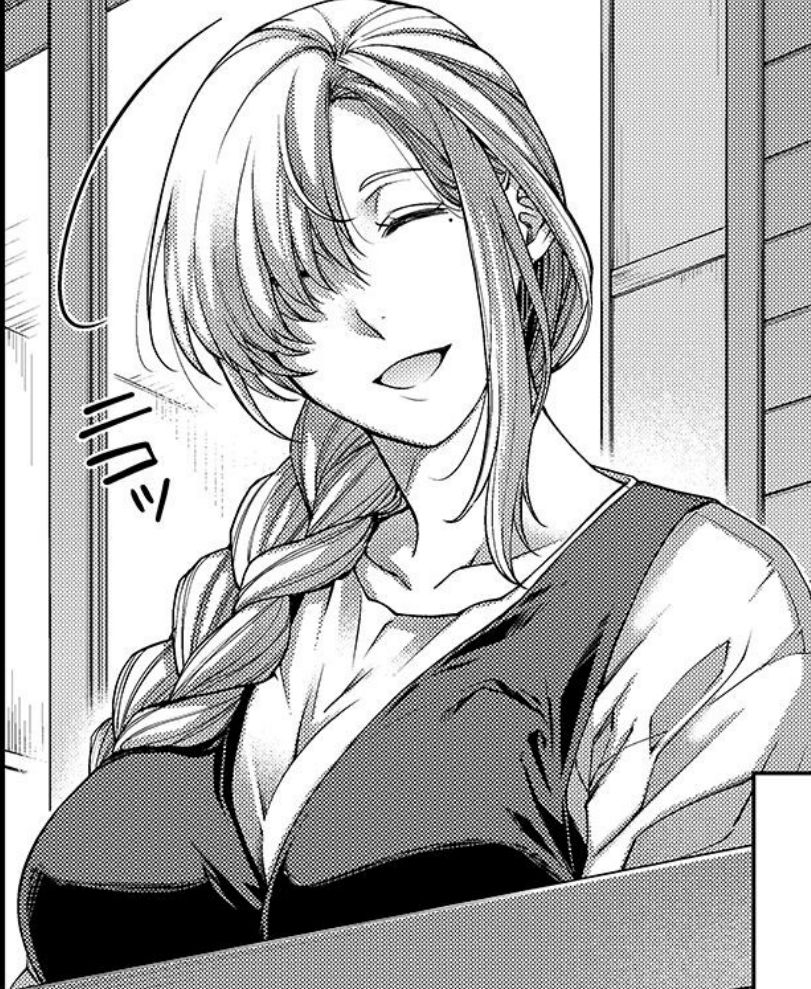
そして

規則正しい信号


顔なじみの乗客

定時の電車






いつも  
見かける



二階の  
角部屋の  
女性



名前も  
知らない




話をした  
ことも無い

帰り道に  
会釈だけする

そんな  
不思議な関係

単調な日々の  
繰り返しの中



ほんの少しの  
楽しみである



こんな時間に…

シフト交代遅れたら



うっわ

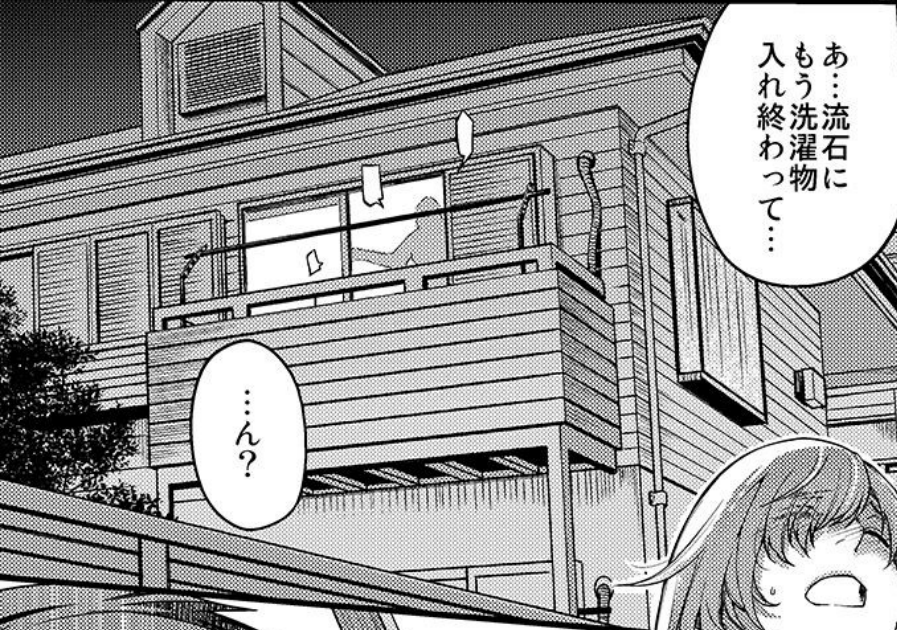


今日は会えないかも…

もう



あ…流石にもう洗濯物入れ終わって…



…ん?



!?



あ…  
こっちに  
気付い…

あ…?

…う?

…え

え…

…まさか  
『たすけて』!?

え…これ  
どういう…  
状況なんだ?

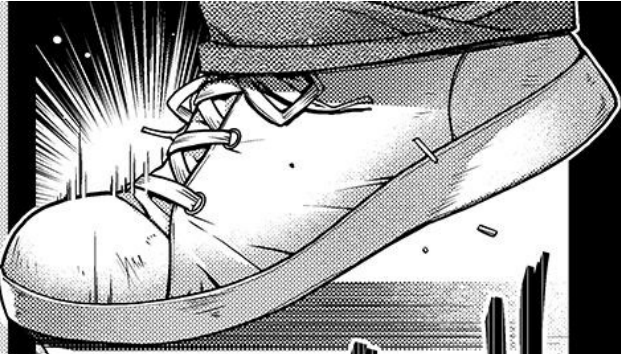
強盗…

いや強姦!?



警察  
呼ぶか…？

いや悠長に  
待って  
られない



いやいやいや  
それかなり  
マズイだろ



迷っている  
暇はない

ヒュッ

多分この  
角部屋…  
201号室だな



大丈夫  
ですか!?

助…け…

ガッ

動けな…っ

だっ…  
誰かいるん  
ですか?

ガッ

あれ  
開いて…

強行突破…

ガッ



引っ張り出して：  
もらえませんか？

そのっ…

は…：  
挟まっちゃって…  
隙間の物を  
取ろうとしたら…

みっし

ギッ

ギッ

もじ  
もじ…

ギッ

ギッ



スグ



え…

ええええ…

い、いえ…

あの…：  
有難う…：  
御座いました…



は...  
ハイ...

ホロホロ...

認識されてた!



あなたは  
確か

いつも外で  
挨拶して  
下さる方  
ですよ?

近くで見ると  
本当にキレイな  
人だ



おかしな  
出会いです  
よね

お互い顔は  
知っていても  
直接会って  
お話するのが  
こんなこと  
だなんて



いえ、  
見つけて  
貰えなかったら  
私...

あのまま  
餓死していた  
かもしれません

それは  
言い過ぎ...



こっちこそ、  
勘違いとはいえ  
スイマセン

さつき  
触れた時に  
女性特有の  
いい匂い



忘れられ  
そうにない...

ズキ...

だって

なんだ  
この感覚…？

空腹だと  
言っただけ  
なのに…

そうだ

助けて貰った  
お礼に…

ポン

そろそろお腹が  
空いてきたから…

急に空気…  
というか

え!?

コチラが  
『窮屈』に  
されているので

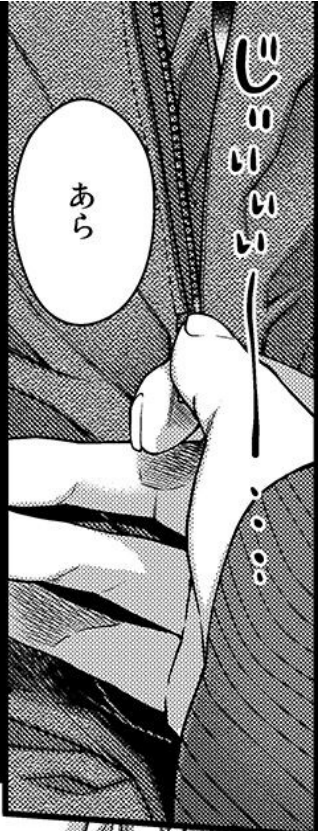
今度は私が  
『助けて』  
あげますね

雰囲気  
が変わったと  
いうか…

これは  
その!

男なんて  
普段から  
こんなもん  
ですから!

チン  
チン  
チン



あら

男性って  
普段から

フル勃起されて  
いるんですか？

ぶるっ



エッチな体ですね



あ...う...

なっ...  
なんなんだ  
コレ...

変な事を  
されているって  
わかっているのに

抵抗できない

っ

ビクッ

っ

っ

っ

っ

っ

っ



これだけじゃ

解放された  
なんて言えま  
せんよね？

大丈夫ですよ

しっかり  
射精しきって  
あげますから

!!?

ま...

まて

まて...

まてまて...!

一気に豹変  
したというか…

んっ…

いつも挨拶を  
交わしていた  
女性が

あなたの  
フルはまだまだ  
デシヨ？

フル勃起の  
状態で  
入るかしら？

くちゅ…

なあんて♡

っ!!

まさか  
こんな淫乱…

は…っ

ふふ…  
ぜえんぶ  
唾えちやった…

は…っ

いや  
痴女だった  
なんて…

は…

みぢち…



ほらほら♡

声出しちゃって  
いいんですよ？

ほーっ

ほーっ

独り暮らし  
ですもの

ほーっ

キュッ

キュッ



誰の迷惑にも  
ならない

ほーっ

ほーっ

クワッ

クワッ

ほーっ

やりたいこと



ニヤニヤ...

クワッ

やっ  
ていい  
のだから

クワッ





あなたの  
願望なのよ



実は全部

でも  
今のこ  
って



そっ…  
そんなことは…っ

あなたはただ  
帰り道に挨拶をする  
女性なだけで  
それ以上はなにも…

本当に  
そうかしら？

はっ

はっ

はっ

おっ  
おっ

ツツ

言葉とは裏腹に

がっしり私を掴んで離さないじゃない？

走って時間通りに来ようとしたのはなぜ？

隙間に挟まった私を見て強姦されていると思ったのはなぜ？

ただ挨拶するだけの女を

なおも抱き続けるのはなぜ？

…事実だから言い返せない…



ふふっ  
その答えを  
教えてあげる

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

はっ  
はっ  
はっ

実はね：  
ずうっと

あなたの目に  
留まるような  
行動をして

私の存在を  
植え付けた



私のことしか  
考えられない  
ように

熟れるのを  
待ったの

そうそれは  
パブロフの  
犬の様に







ああ

はっ...

快楽が得られた  
かしら？

はっ...

はっ...

トロネ

それとも  
罪悪感が  
残るかしら？

はっ...

はっ...

あふっ...



あ、えっと俺…

私を助けて  
下さった直後

反動で壁に  
頭をぶつけて  
しまったて

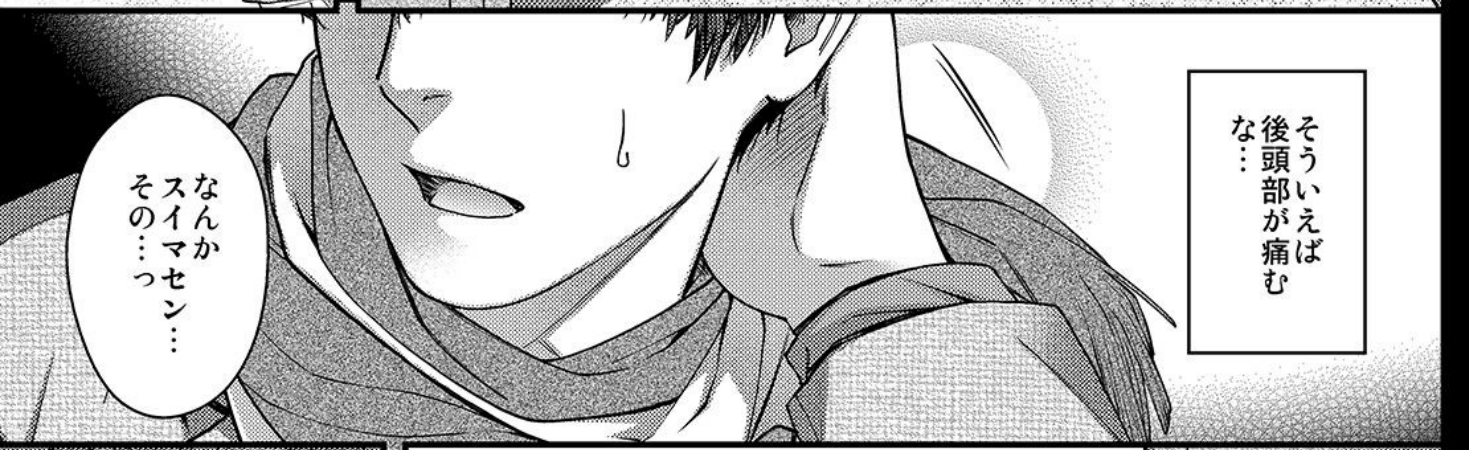
気を失って  
いたんですよ

気付かれ  
ました？

え…？

そういえば  
後頭部が痛む  
な…

なんか  
スイマセン…  
その…っ



時間は…

え!?!  
まだ十分も  
経ってない？

まだ  
痛むようなら、  
救急車  
呼びますけど…

まさか  
さっきのは  
夢…？

あ、いや  
大丈夫です

…じゃあ、  
俺はこれで

え、でも…



キッ

ハッ...



これでまた  
明日も同じ  
日が来る

単調な日々  
に退屈して  
いた脳が  
みせた幻...

名前

聞きそびれ  
ちゃったな

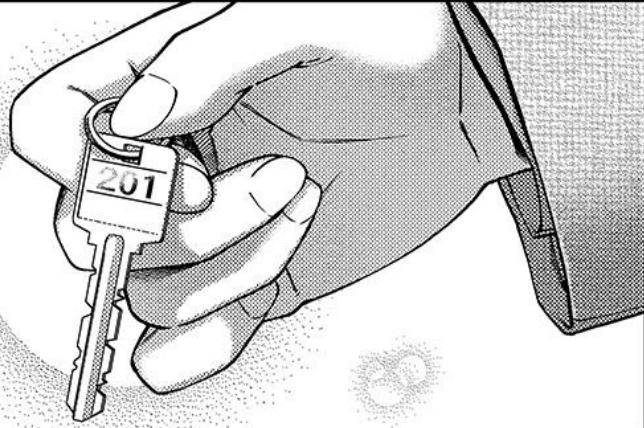
なんてな

は



鍵...?  
いつの間に...

201

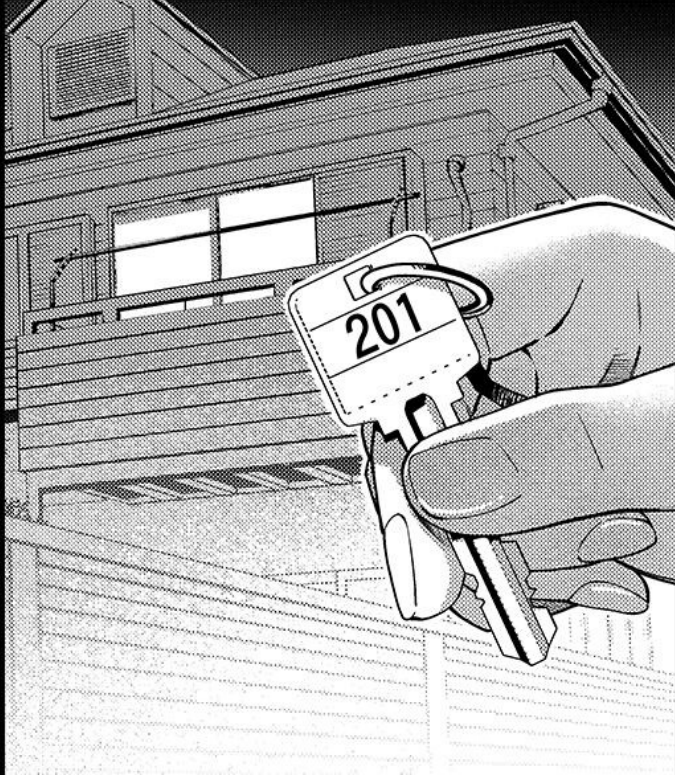


ギョッ

それって



201



どうやって  
返したら  
いいの  
だろうか…

また

会える口実が  
出来たな…

フ  
フ  
フ

こんにちは、日吉ハナです。  
今回は商業で良く描いている「椿」というキャラクターの作品となります（二次創作じゃないですよ！）単行本発売記念に、電子で新規の話が読めたら面白いかな？と思って、製作しました。

単行本発売記念ということで、今までの椿作品を「混ぜ合わせ」たような内容にしてみました。最初から狙ってそのように作ったわけではないのですが「もう一度こういうシーン描いてみたいな」というノリでの製作です。

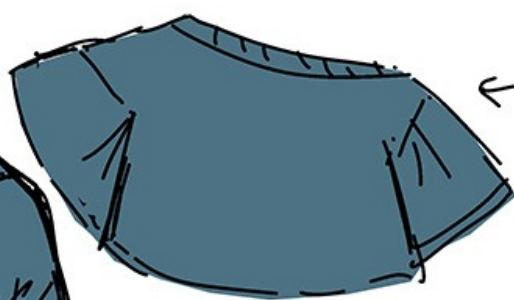
内容としましては、日常の中の非日常という、椿らしいテーマにしてみました。作中でも書きましたが、世の中は本当に規則正しく動いていて、普段当たり前のように見えていた景色や感覚に、急に「ふ」と混ざり込む何かってありませんか？という発想から今回のお話を考えていきました。

オチとしては、なんだか主人公がストーカーみたいな発言にとれてしまうかもしれないな…と思ったのですが、プラス思考で解釈頂ければと…！

といった感じで、また次回作も既に製作に取り掛かりますので、お待ちいただけると幸いです。次回はもっと明るい感じがいいかな、なんて思いつつ。ではまた！

日吉ハナ

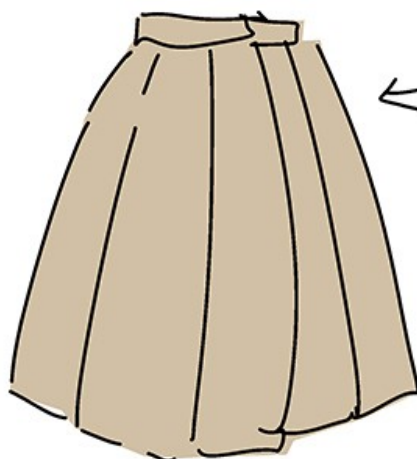
【お知らせ】  
2023年11月30日に最新単行本『廻夜のケモノ』（GOT）が発売しました！この『合鍵のケモノ』にも通じる内容なので是非…！



紺 or 深緑.



④



← プリーツ



白



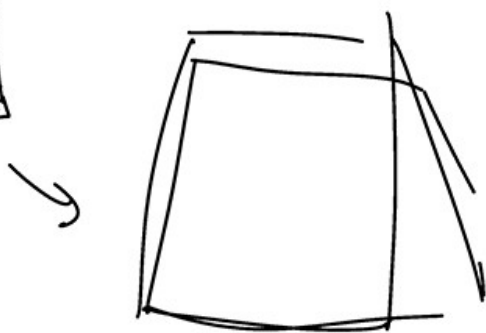
タック  
タック

縫



サイド割れ

後ろ割



下にもう一枚  
必要かも

足先まで描いていました。

